



冬の動物園は4月8日まで無休で開園しています。

ASAHIYAMA ZOO

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104



アザラシは氷の上で子育てをします

暖冬で消えたアザラシたちの流氷

アザラシは氷の上で子育てをします。暖冬で消えたアザラシたちの流氷。アザラシたちは実際に楽しそうだったといっています。これからは冷え込みが緩むため、流氷作りは断念することになりましたが、来年こそはと意気込んでいます。来年こそ北海道らしいアザラシたちがみせる冬の姿に期待していただきたいと思います。

旭川の
平年2月上旬の平均気温 -8.1℃
今年2月上旬の平均気温 -4.7℃
その差 3.4℃

その差 3.4℃

こんなにあたたかいんだ！

「アザラシが氷の空気穴からひよっこ顔をだす姿を見てみたい」野生では当たり前な姿をここで再現してみよう、そんな思いからこの作戦は始まりました。

あざらし館の水面は「L」字に折れたひよっこのような形をしています。そのひよっこの一方を区切って雪や氷を運び入れます。それを夜の冷え込みを利用して凍らせようというのです。一年間で最も寒い1月の下旬から2月にかけて、旭川の冷え込みはマイナス20度にもなります。

しかし、今年は、マイナス20度どころか、マイナス10度を下回る日も数えるほどしかありません。日中には溶けだしてしまいうちに試行錯誤していたある日、アザラシのそらとウイが仕切りを壊し、中に入り込んで氷であそんでいるではありませんか。プールに浮かんでいる氷を食べたり、その上に乗ってみたり。さらに次の日も頑丈に作り直した仕切りも壊して遊んでいました。啞然とする飼育係をよそに、アザラシたちは実に楽しそうだったといっています。

おしえて！
どうぶつえんのお仕事

冬、北海道のオホーツク海沿岸には流氷とともにゴマフアザラシがやってきます。そこであざらし館にも同じような環境を作ってみよう！ということで2月上旬から大がかりな作戦が行われました。しかし、そこには思わぬ大敵があらわれたのです。



度重なる大がかりな雪入れ作業

冷え込みを期待するも...

あざらし館を流氷におおわれた北海道の海へ



仕切り

これって地球温暖化？！

今年の冬の暖かさを、すごしやすいと喜んではいられません。もしこれが地球温暖化の影響ならば、アザラシが子育てする場所は確実に失われつつあるということです。野生の動物たちは今まさに危機に直面しています！今こそ地球温暖化を防ぐため、動き出さなければならぬのです。私たちにもできることは何か、考えてみましょう。

今年も出産！ 2/4 千口につづきイフが母に



母の手の中ですくすくイフにとって6年ぶりの子育て

2月4日にチンパンジーのイブ（16才）が6年ぶりに赤ちゃんを出産しました。産後は順調で慣れた手つきで子育てをしています。赤ちゃんもすくすくと育っており、担当者はほっと胸をなでおろしています。20日には無事に群れに戻りました。ちんぱんじー館では赤ちゃんの様子を1日おきに見られます。

ペンギン館にトボガン広場とペンギンブリッジが完成！！

トボガンって？

トボガンというのは、ペンギンが腹ばいになってフリッパー（翼）や足を使って進む様子をさします。トボガンとは英語で「小型のそり」という意味です。キングペンギンの散歩でもふかふかの新雪の時にこの姿を見ることが出来るかも...

広場では雪をたべたりねそべったり！！
ビニールの柵にも興味津々

ペンギン館に新しい雪遊び広場が完成しました。ペンギン館から広場を結ぶ橋も同時に完成し、ペンギンたちは自由に行き来します。雪の中を走ったり、腹ばいになったりと陸上での活発な様子がさらに見られるようになりました。こちらも雪がしっかりとある間だけの期間限定。お見逃しなく！

雪とたはわねむれ
飛びたはわねむれ

